

はばたき

2023. No. 98

次の一步を、踏み出す





利用者のニーズに 応える

ふなばし工房 施設長
渡辺 寛之

ふなばし工房は平成8年に開設され、27年目を迎えています。開設当初は船橋市立特別支援学校のたくさんの卒業生が利用され、若い集団の中で、生産活動を通して働くことを主体に活動をして参りました。現在は、当時からすると社会情勢と国の施策も大きく変わって参りました。特に利用者の高齢化は顕著に表れ、働く意欲があるにも関わらず、体力が低下した利用者も少なくありません。ここ数年は介護保険のサービスを併用で利用する方も増えてきております。

さて、5月にコロナ感染症の位置づけも緩和され、地域とのイベントも少しずつ再開されるようになりました。パン・菓子・野菜等自主生産部門は3年超しの販売に今年こそ目標達成に活気ついていきます。

今年度も開設より続く「働く」とを通じて達成感や満足感が得られるように、また、高齢の方には健康管理にも重きをおき、ひとりひとりに合わせた個別支援を提供して参ります。就職を目指す方、安定的に活動を継続する方等利用者のニーズに応じていききたいと思っています。

活き活きと働き、利用する方のニーズに応え、保護者や関係者の皆様の安心、この三点を大切にしながら取り組みでいききたいと思っています。

職員全員がチームワークをもって業務を進めて参ります。



地域の期待に応える

梨香園 施設長
関 厚



令和2年に初めて確認された新型コロナウイルス感染症も3年目に入りましたが、やっと行動制限も解除され、それぞれの判断で生活できるようになりました。梨香園では、職員・利用者共に感染対策は引き続き行いながら、コロナ以前のように多くの行事を企画し外出の機会を設け利用者の笑顔が見られる一年と致します。

今年で梨香園を開始して6年目を迎えますが、大久保学園が運営を行うに当たりいくつかの条件がありました。①生活介護事業の定員を60名にする。(重症心身障害者5名含む) ②短期入所事業の実施。(6名以上) ③指定特定相談支援事業を実施するという事です。

生活介護事業は42名から開始し、毎年度地域の特別支援学校の卒業生を中心に受入れ、これまで29名の方が入所(9名退所)、現在は62名の方が利用されています。

短期入所事業は定員12名(14床)、緊急時の利用、自宅での介護負担の軽減等の目的で大変多くの方が利用されています。

重症心身障害者・医療的ケア者も身近な地域での生活が当たり前となっている現在、当園でも受入れを積極的に行い12名の方が入所されました。うち医療的ケア者は3名です。今後は日中活動の場の提供だけでなく、重度心身障害者・医療的ケア者の短期入所の受入れも出来るように体制を整備したいと思っております。地域生活支援等拠点事業の一翼を担えるように、地域の事業所と連携しながら、利用者・保護者の安心した笑顔が見られるよう、一步一步着実に進めたいと思います。



のりきった、かしら

理事長 千日 清

日本の四季はどうなったの？というくらい長い夏でした。園庭の樹木や花への水撒きも億劫になってしまふ朝からの猛暑に、流石に根負けする長い夏でありました。十月半ばになつてやっと秋を感じているところです。思えば今年の三月には、既に夏の気配があることに驚き、年度を開始した時には既に桜の花は散っておりました。もしかしたら季節の流れは変わらないのに、私自身の感覚が早まつたり遅れたりしてはいないかと心配になるほど。

五年度が開始されて半年が過ぎ、利用者の皆さんの生活は大きく変わらず、様々な行事を繰り広げながら進んでいます。夏バテでくじけた利用者も職員もなく、十一月の学園祭への準備が本格化しているところで。職員の表情にも活気と少々の疲れが表れている時期なのかもしれません。とりわけ若手の職員から醸し出される逞しさに安堵しています。

少し年配の職員の話をしてしましよう。自衛隊を勤め上げ、大久保学園に再就職された男性。十年間、園内外の植栽環境整備はほぼこの人が行っているといつても過言ではない。勿論園芸班やその職員利用者達が園内を花で飾り、吹き抜けや室内を整えていることはご承知の通り。奇麗な園庭である。

さてこちらの職員、国防の時には、パラシュート部隊でそれこそ秒単位、ミリ単位で訓練や実務にあたり、さぞかし集団と秩序の世界であったことと推察します。ましてや、現職時代には緊迫した世界状況を肌で感じ取ってきた方。肝っ玉も半端ではなからうと。

福祉施設の業務の中で結構感じるところは、利用者に合わせて、臨機応変とか曖昧な流れが多く存在し、予定の変更もしばしば。やりにくさを感じたことと振り返ります。が、利用者を可愛がつてくれるし、

とても良い人柄で施設の仕事にマッチしてくれてよかつたと思つづく思います。一台の軽トラックをお渡しし、貴方に環境整備をお任せしたいと我儘なお願い。これまで訪れた方々皆さんから「素晴らしい芝生、素晴らしい剪定」と仰つて下さる。すべてこの職員が毎日園内をぐるぐる回りながら整えてくれているのです。今では障害者雇用でのお一人が加わり酷暑の時にも踏ん張つてくれました。

この人がいなくなつたらどうしようと考えるのも当然。何せ正月の門松を法人全事業所分作り、クリスマスをイルミネーションで彩り、文化伝統技術を継承していかなければならないレベルになってきています。

一方、営繕に燃える(燃えるというは大変失礼、努力している)職員も。詰りを直しポンプを交換、切断接続を行い、壁を貼る、結構多くの分野で業者を呼ばずとも修繕してしまふ。泥、異臭に囲まれ大汗をかきながら若者に教示しながら。ドヤ顔ではない達成感を全面に出して直りましたと報告してくれるが、そんなに簡単なことではない。一つ言うと営繕は私自ら後輩に教示し継承され

ている……なんてね。

こういう職員が男女たくさんいる。よく働くよく食べるし、よく呑む。チームで動く機動力、この人にしかできないこと、この人に頼めば何とかしてくれる人。

今回二人の職員のことだけを触れただけで、得意分野を活かす人、不得意を克服しより高めた人いろいろで、当法人はそういう職員の集団である。

表紙を飾る若者たちに繋げていきたい。

私たちの仕事は福祉である。



令和4年度 社会福祉法人 大久保学園 決算報告

(単位：千円)

財産目録

令和5年3月31日現在

資産・負債の内容

I 資産の部		II 負債の部	
流動資産	1,639,650	流動負債	253,069
固定資産	5,317,134	固定負債	712,985
基本財産	3,523,838	負債合計	966,054
建物	2,671,584		
土地	852,254		
その他の固定資産	1,793,296		
資産合計	6,956,784	差引純財産	5,990,730

貸借対照表

令和5年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	1,639,650	流動負債	253,069
固定資産（基本財産）	3,523,838	固定負債	712,985
固定資産（その他の固定資産）	1,793,296	負債の部合計	966,054
		純資産の部	
		基本金	537,557
		国庫補助金等特別積立金	1,143,688
		その他の積立金	1,433,648
		次期繰越活動増減差額	2,875,837
		純資産の部合計	5,990,730
資産の部合計	6,956,784	負債及び純資産の部合計	6,956,784

資金収支計算書・事業活動計算書

自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

資金収支計算書		事業活動計算書	
勘定科目		勘定科目	
事業活動収入	3,215,801	サービス活動収益	3,127,573
事業活動支出	2,834,152	サービス活動費用	2,879,342
事業活動収支差額	381,649	サービス活動増減差額	248,231
施設整備等収入	51,043	サービス活動外収益	88,228
施設整備等支出	138,314	サービス活動外費用	33,335
施設整備等収支差額	▲ 87,271	サービス活動外増減差額	54,893
その他の活動収入	75,453	特別収益	51,043
その他の活動支出	277,910	特別費用	48,872
その他の活動収支差額	▲ 202,457	特別収支差額	2,171
当期資金収支差額	91,921	当期活動収支差額	305,295
前期末支払資金残高	1,451,895	前期繰越活動増減差額	2,747,172
当期末支払資金残高	1,543,816	当期末繰越活動増減差額	3,052,467
		その他の積立金取崩額	73,370
		その他の積立金積立額	250,000
		次期繰越活動収支差額	2,875,837

社会福祉法人 大久保学園

令和5年度新任職員紹介

大久保学園



大友 稜也

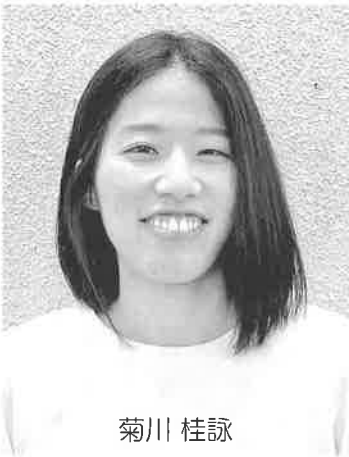
岩本 輝

川上 琴音

この度4月から大久保学園に配属されました、川上琴音と申します。私は出身、大学共に千葉県外で、就職を期にここ千葉県に生活の根を下ろしました。

大学四年間では福祉に関わらない学問を修め、毎日新しい発見、経験にあふれる生活を送っております。それは周囲の職員の方から得るものでもありませんし、同時に利用者の方から教えていただくことでもあります。学園で暮らす利用者だからこそ見える事を吸収しつつ、そんな利用者の生活を長く支えられている職員の方からの教授内容を反芻し、学園の一職員として成熟していきたく思います。

ふなばし工房



菊川 桂詠

4月よりふなばし工房に配属されました菊川桂詠と申します。食品加工班の担当となって前半年が経過しました。

この半年はあっという間に過ぎ、作業での食品作りと利用者との関わりの中、大変な事ばかりで日々懸命に奔走していました。先輩職員や利用者にも迷惑をかけてばかりいて正直この先やっていけるのか不安でしたが、皆さんに支えられながら何とか現在まで頑張る事が出来ました。今となっては業務も覚え、出来る事も少しずつ増え、気持ちにも大分余裕が持てるようになりました。また、利用者の方からとても楽しい毎日を送ることが出来ております。

今後は更に利用者の皆さんにとって私自身を必要としていただけよう、多くの経験を積んでスキルアップを目指し、一人前の支援員となれるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。

光風みどり園



岡崎 優樹

平井 綾音

4月より光風みどり園に配属されました、平井綾音と申します。入職してから早いもので6か月が経ち、利用者の顔と名前も一致し、距離も縮まってきたのではないかと感じます。利用者や接する中で関わり方などに悩む場面も多々ありますが、先輩職員の方の背中を見て学ばせて頂いている毎日です。

今後も利用者の皆さんが安心して仕事に取り組める環境づくりや、一人ひとりに合った支援を行えるよう、自分なりに精一杯努力し、皆さんから頼られる支援員を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

令和5年度新任職員紹介

みどり園

みどり園に配属されました住吉研志郎と申します。日々利用者に寄り添いながらの支援を志して進めています。

大学では歴史学を専攻していましたが、実際には職場に入っとうまくできるのか正直不安でした。仕事を始めてみると最初は利用者にどう接したらよいかわからない日々が続きましたが、先輩職員からアドバイスをいただき、少しずつではありますが、利用者とのコミュニケーションを取ることができました。今では利用者から声を掛けてくれるなど、ささやかではありますがやりがいを感じる場面が増えていきます。

困ったり悩んだりして利用者にどう接したらよいか分からない時もありますが、そんな時こそ気軽に相談できる先輩職員が近くにいるので、安心して支援に従事することができています。

まだまだ学び・悩むことも多い日々ではありますが、利用者一人一人に寄り添うことを大切にし、立派な支援員になれるよう頑張りたいです。



加藤 朋美 住吉 研志郎 高橋 いつみ

代宿地域支援センター

今年度より代宿地域支援センターに配属された南雲和奏と申します。元々は、イラスト関連の専門学校に通っていましたが、就職活動中に色々ご縁が繋がりと、この度働かせて頂く事になりました。

採用から半年程度過ぎましたが、毎日驚きと気づきの連続です。特に驚いたことは、私が利用者を支えられる場面が多くあった事です。仕事で困っていると声をかけて教えて下さる方もいましたし、任された仕事を頑張る様子や、マイペースに過ごしている様子から、やる気や癒しを頂いて心が元気になることもありました。もちろん、利用者の方々だけでなく、先輩職員の方々にもとてもお世話になっており、温かいサポートに感謝する日々です。

まだまだ未熟者ではありますが、私自身にしていたことができるように、多くの方々を支えることができる支援員になれるよう、精進して参ります。よろしくお願います。



南雲 和奏

梨香園

4月より梨香園に配属となりました小倉 渉と申します。

これまで支援員として働いてきましたが日々、覚えることや学ぶことの多さに圧倒されています。それでも諸先輩方からの手厚いサポートもあり、積極的に利用者の皆さんと関わることに集中することができ、かつ学ぶこともできています。

将来的には利用者の皆さんの小さな様子の変化や訴えに気づき、利用者の皆さんやご家族の皆さんから信頼される支援員になりたいと考えています。精一杯努めますのでよろしくお願致します。



遠藤 桃子 小倉 渉 佐々木 康起

法人職員一泊旅行

筋野 進

コロナ禍も終わり、5年ぶりに職

員一泊旅行を実施しました。以前は、冬の時期に実施していましたが、今年度は初夏にあたる6月4・5日、19・20日の2グループに分け、計180名が参加しました。

場所は静岡県の伊東温泉。東京駅集合で特急踊り子号にて向かいました。今回は観光というよりも、ホテル、温泉を楽しむといったコンセプトで実施したので比較的のんびりとした雰囲気の旅でした。

東京駅では、酒やつまみを大量に買い、乗車中は皆で大騒ぎをしながら1時間半の旅を満喫しました。伊東温泉駅に着くと、バスに乗ってホテルに向かう人、徒歩で街並みを観ながら向かう人と様々でしたが、それぞれのんびりと楽しんでいました。

ホテルに着いたら、ゆっくり温泉に浸かり一休み。夜は豪華な食事が並び、宴会を行いました。次の日は朝食を済ませ、10時にチェックアウト。13時には東京に戻ってきました。

久しぶりに実施した職員旅行。再開出来た事が何より嬉しく、皆で集うという大切さや楽しさを体感出来る、職員からも「楽しかった!」との声が多く挙がりました。次回は少し欲張り、一泊と言わず、2泊。場所も関東圏内を離れたところに行きたいと考えています。



夏祭り

野倉 千夏

例年実施している夏祭りを今年も開催しました。屋台では毎年お馴染みのかき氷、お菓子のくじ引きや射的、製作活動でオリジナルうちわ作りやスイカ割りも実施しています。

私が当日配置に入ったうちわ作りでは、利用者の写真を切り取ったものをあらかじめ用意し、すぐにうちに貼り付けられるよう準備を行いました。自分の写真だけではなく、好きなキャラクター

いる利用者もいました。カメラを向けると「これ可愛いでしょ。私の写真!」「ここ頑張って作ったの!」と笑顔でうちわを見せて写真に写ってくださる方が多くいらっしゃいました。

夏祭り後も暑い日が続いている中、居室でオリジナルうちわで仰いでいる利用者もいて素敵に夏祭りになったのではないかと思います。

好きなキャラクターのシールや法被や提灯の切り抜きを貼ったり、イラストや文字を描いてオリジナルのうちわを製作していました。熱中して黙々と行っている利用者もいれば、職員に声を掛けて話し合いながら行って



お楽しみ会



新任職員と利用者との交流を目的として、5月5日にお楽しみ会を実施しました。

利用者が楽しめるイベントづくりの為に係で何度も話し合い、日頃は体験できないような空間を作り楽しんで頂きたい、皆さんが好きメニューを食べて頂きたい

との思いで試行錯誤しながら、企画を立てました。毎年恒例となっている新任職員との借り物競争は大盛り上がり！新任職員と走りたくて何度も列に並び直し走っている方もいらっしゃいました。お昼ご飯はハンバーグカレーとケーキ！味も量も大満足だったようです。午後は部屋を暗くして、暗闇で光るペンで絵を描いたり、暗闇で光るシールを手に貼り、皆さん大興奮！すごいんだよ！と見せに来て下さる方や、とつても楽しかった！と話しに来て下さる方もいらっしゃいました。鯉のぼりの貼り絵も完成させて笑顔一杯大成功のお楽しみ会でした！

(八木 瑛利子)



千葉県障害者FD大会

4月29日(土)、第12回千葉県障害者フライングディスク大会に参加して参りました。当日は風が強く競技的にはやや難しさを感じる環境となりました。

最初の競技アキュラシーでは風の影響で皆が中々上手く的確を捉えられない中、10回中8回も成功させた利用者もあり、とても盛り上がりました。陸上競技場のスタンドからの眺めの良い景色で食べる昼のお弁当は格別で、とてもリラックスできました。午後のディスクスタンス競技では強風で思ったようには飛ばない事もありましたが、それもまた楽しく、笑顔があふれていました。終日を通して穏やかな気温と爽やかな風の中、充分な休みを挟みながら参加することができ、心地よい疲れの中、帰途に着くことができました。

(大矢 祥二)



手をつなぐスポーツのぞろ

9月28日に千葉県総合スポーツセンターにて開催されました。リレー競技において利用者の部では女性1位、男性4位でした。女性利用者は結果に満足した顔つきが印象的でした。男性利用者は全力を尽くし結果を受け止めている人もいれば、早くもリベンジに燃える人がいて来年は楽しみです。職員の部です



が例年、大久保学園は男女とも1位を獲得している法人です。で、周囲から「打倒大久保学園」の眼差しが刺さっております。結果は女性2位、男性は僅差で1位を防衛しました。私はアンカーとして走っており、その後ろにいるランナーへの恐怖、追いつかれそうになる絶望を味わいました。来年は王座を防衛するチームとして良いバトンがつけられるように頑張ります。(三好 亨典)

寄付金

令和五年四月一日
〜令和五年八月三十一日

【後援会】
安達憲子・其田操・永田笑子
御給和弘・細沢潤介

【一般】
大塚建工(株)・大久保学園保護者会
大久保学園後援会・和田浩行・霊友会
伊トヨーカドー我孫子店・青木富美子
(敬称略)

ありがとうございました



令和5年度がスタートして、早半年が経過しました。4月、園内が桜で満開の中で13名の新しい仲間を迎えた事はまだ記憶に新しいところですが、半年が経過すると新任であつても一緒にチームをなしていく姿はもう立派な支援員そのものであると日々感じます。先輩の視点、新任の視点を融合して向かうところは「二つ利用者の「幸せ」を目指して職員一同頑張っております。コロナ禍が過ぎたと思えば、また大流行。不安と隣り合わせの日々ですが、普段の生活、活動に戻ってきてきて活気に満ちあふれてきました。今までの自粛モード期間を取り戻すべく、更にパワーアップしていききたいものです。(筋野 進)

はばたき 二〇二三 九八号

発行/令和五年十月

発行所/社会福祉法人 大久保学園

TEL 〇四七(四五七)二四六二

FAX 〇四七(四五七)四〇六九

URL http://www.okubogakuen.or.jp

Mail shienka@okubogakuen.or.jp

編集/大久保学園 広報委員会

表題書/中原 強